平成 27 年 4 月 12 日（日）
NPO 四季の森里山研究会
森本正信・木野内明美・川窪正昭・大塚晴子

萌黄色の里山を訪ねて

～ 里山と水とくらし ～

・「萌黄色ってどんな色」
　黄緑にも色々ありますが、萌黄色にまつわるお話

（木野内氏）

テーマ、里山の文化論
・雨に恵まれた日本では斜面に森林が育ち,水と土が供給され,水田稲作が発達した。
「里山＝田＋土＋山（森）」・・日本は「米と木の文化」の国
・生活に必要な「水と食料と燃料」、大部分を里山によって獲得してきた。
・観察ポイント「少年団の森」・・あたらしい里山つくり
　　「不動の滝」・・・江戸時代の水源、里山に沸く水で田をひらいた

（川窪氏）

・体験イベント「自分の大切な人に葉書を書こう！」
　葉書の葉「タラヨウ」は有名ですが、
　アオキで代用でき、通年の企画として楽しめます。
　つま楊枝で言葉を記すと、1 時間程で文字が浮きでてきます。

（森本氏）

・春の若葉の色のひみつ
　黄緑色、赤色、白色、どうして葉の色が変わるのか？
・アオキの葉ゲーム　（大 塚）